



パブリックコメント1万人の声

子どもたちの未来のために

PFAS（有機フッ素化合物）をどれくらいまで体に取り込んでも健康に影響がないか——。

食品安全委員会は初めて「PFASの摂取許容量（案）」を示しました。

それは欧州の60倍、アメリカの200倍を超えるもので、PFASができるだけ取らないようにという国際的な潮流に反しています。

国はこの数値をもとに飲み水の目標値を見直すため、影響は小さくありません。

そこで私たちはパブリックコメント「1万人の声」を呼びかけます。許容摂取量（案）の見直しを求めて、全国から声を届けませんか。

多摩地域の有機フッ素化合物汚染を明らかにする会 2024年2月11日

2024年3月7日までパブリックコメントを募集中

パブコメサイトはこちら
QRコードからアクセスできます→



問題点1：米国や欧州と比べ著しく高い摂取許容量

	PFOS	PFOA	4 PFAS	
日本・食品安全委員会	20ng/kg/日	20ng/kg/日	—	2024年（案）
アメリカ・環境保護庁（EPA）	0.1ng/kg/日	0.03ng/kg/日		2023年（案）
欧州・食品安全機関（EFSA）			0.63ng/kg/日	2020年 ²⁾

日本の食品安全委員会が示す摂取許容量（案）はアメリカのPFOSで200倍、PFOAで666倍、欧州の64倍以上と国際的潮流に反した非常に高い水準です。血中濃度に換算するとPFOS<250ng/ml、PFOA<143ng/mlに相当します。

パブコメ意見：ご参考です（ご自身の言葉でご自由に。1行でも構いません）

- ① 食品安全委員会が「20ngが妥当」と判断したことに大変驚いた。米国や欧州の摂取許容量よりも数百倍も高い、と聞いて不安です。科学的な不確実性を口実に対策を遅らせることなく「予防原則」に立ち総合的な判断を求めます。
- ② この摂取許容量「20ng/kg/日」を血中濃度に換算するとPFOS<250ng/ml、PFOA<143ng/mlに相当する。米国アカデミー³⁾の臨床ガイドではPFAS血中濃度が20ng/mlを超えると健康影響が懸念されるため特別の注意を勧めているのに、食品安全委員会はなぜこのような非常に高い血液濃度を安全と説明できるのか。特に感受性が高いとされる妊婦、乳幼児、高齢者の安全は守られるのか、食品安全委員会はきちんと国民に説明すべきだ。
- ③ 東京・多摩の住民のPFAS血中濃度は高く、飲み水の汚染と体内汚染に相関があると知った。研究データが十分になく、健康への影響がはっきりわからないのであれば、「予防原則」に基づいてまず、取り込む量を減らすことが大切ではないか。
- ④ 欧米は「PFASゼロ」を目指し、対策を進めようとしている。日本も「ゼロ」を目指すべきだ。また、この摂取許容量をもとにしたら、飲み水の暫定目標値は50ナノグラムのまま変わらないと聞いた。子どもたちの健康を考えると心配でとんでもないことだ。

1) EPA 2023 Draft : PFOAは「子どもの破傷風、ジフテリアワクチン接種に対する抗体価の低下、低出生体重、総コレステロールの上昇」。PFOSは「低出生体重、総コレステロールの上昇」を基礎としたNoncancer Toxicity Value。

2) EFSAは4物質を対象としているのに対して、日本はPFOS、PFOAの2物質しか評価していないため、実際には64倍以上の緩い水準。

3) 米国アカデミーが2022年8月に公表した臨床上のガイドでは7つのPFAS (PFOS, PFHxS, PFOA, PFNA, PFDA, PFUnDA, MeFOSSA) の合計で20ng/mLを超える患者へは特別の注意を勧めている。

問題点2：国際的な発がん性評価を取り入れず

	PFOA	PFOS
国際がん研究機関 (IARC)	発がん性がある	発がん可能性がある
日本・食品安全委員会	証拠は限定的	証拠は限定的

パブコメ意見：ご参考です（ご自身の言葉でご自由に。1行でも構いません）

- ① PFOAとPFOSについて、動物実験が沢山行われ有毒性がかなりわかっているようですね。がんの国際がん研究機関 (IARC)では様々な国から50人以上の研究者が集まり論文を精査し、証拠が多かったので「発がん性がある」「可能性がある」評価されています。だれしも「がん」になりたくないと思うので、積極的に「発がん性」を評価して下さい。
- ② がん患者の体験を聞くにつけ、闘病と仕事、医療費や家族ケアなど課題が多い。がん発生のメカニズムなども判明してきている。PFOAに「発がん性」があると国際がん研究機関 (IARC)が世界に公表しているが、食品安全委員会の健康影響評価にもこれを反映してほしい。リスク評価は不確実なものも含めてどう有害性を評価するかが大事。国際的知見を受け止めて下さい。
- ③ 「PFASをどのくらい摂取すると、がんのリスクとなるのか」については、多くの人が知りたい事項です。全国各地でPFAS汚染が発覚し、住民の血液検査で高い値が検出されています。今こそ、国は全国で調査・追跡し、PFASの発がん性を評価と管理・対策に動くべきです。

問題点3：PFOA、PFOSの2つだけを評価

平均血中濃度(ng/ml) ⁴⁾	PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	4PFAS合計
東京・国分寺市	16.5	6.5	17.5	4.1	44.6
岐阜・各務原市(三井水源)	26.0	6.3	28.3	6.8	67.3
沖縄・宜野湾市喜友名	11.0	2.0	11.7	1.9	28.6
岡山・吉備中央町	9.9	171.2	1.0	4.3	186.4
大阪・摂津市 (2024年2月集計)	7.8	10.8	1.2	3.3	23.1
《参考》環境省(2021年)	3.9	2.2	1	1.6	8.7

4) 原田浩二 京都大学医学研究科環境英英学分野准教授 血漿中PFAS濃度調査結果

パブコメ意見：ご参考です（ご自身の言葉でご自由に。1行でも構いません）

- ① 国分寺市、岐阜・各務原市、沖縄・宜野湾市を筆頭に全国で汚染された地下水を水道水として取り込んだ地域住民の血中PFHxS濃度は非常に高い状況にある。岡山、大阪含め各地で発覚している深刻な体内汚染の状況を踏まえ、PFOA・PFOS以外のPFASについても早急に毒性評価を行い、国民の安全・健康を守るためのリスク評価を進めてほしい。
- ② PFASは1万種類以上存在するが、食品安全委員会の評価はたった2物質のみ。未規制PFASについても積極的に有害性調査研究を行い、健康被害や環境汚染を未然に防ぐ管理・対策を急いでほしい。
- ③ 欧米では「代替物質」を含むPFASをグループとして規制しようとしています。規制されたPFOS、PFOA以外にこれらの代替物質も健康への悪影響を引き起こす可能性があるためです。自然環境下で分解しづらく蓄積しやすい、人の体内にも長くとどまるというPFAS。様々な製品にも使用され、生活のいたるところに存在するPFAS。利用可能な毒性値データがないと問題を先送りせず、日本でも代替物質の毒性評価を急いでください。

有機フッ素化合物（PFAS）に係る食品健康影響評価に係る審議結果（案）についての意見・情報の募集

令和6年2月7日
内閣府食品安全委員会事務局評価第一課

概要

食品安全委員会が自ら行った「有機フッ素化合物（PFAS）に係る食品健康影響評価」（令和5年1月31日第887回食品安全委員会決定）については、令和6年2月6日に開催された第928回食品安全委員会において有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループにおける審議結果（案）が審議され、広く国民の皆様から意見・情報を募ることとなりました。つきましては、別添の審議結果（案）[PDF:6,257KB]について、科学的な内容に関する意見・情報を募集します。

また、科学的な根拠となるものや出典等についても併せてお知らせいただければ幸いです（電話での意見・情報は受け付けておりません。）。

なお、お寄せいただいた意見・情報に関してはホームページに掲載して回答するものとし、電話・メールでの個別の回答はいたしませんので、その旨御了承願います。また、意見・情報の公開にあたっては、類似の意見・情報についてまとめて回答させていただく場合があります。

意見・情報の提出方法

電子メールフォーム、ファックス又は郵送いずれかの方法で下記の事項を記入の上、提出してください。

【記入事項】

- 「有機フッ素化合物（PFAS）に係る食品健康影響評価に係る審議結果(案)」について
- 氏名（法人の場合は法人名・部署名等）
- 職業
- 住所
- 電話番号
- 意見・情報

【宛先】

内閣府食品安全委員会事務局評価第一課内

「有機フッ素化合物（PFAS）の食品健康影響評価」意見募集担当 宛

- 電子メールの場合：内閣府共通意見等登録システムの下記URLより送信可能です。
 - <https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1441.html>
- ファックスの場合：03-3584-7391
- 郵送の場合：〒107-6122 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22階

なお、ファックスでお送りいただく場合には、表題を「有機フッ素化合物（PFAS）の食品健康影響評価についての意見・情報の募集」としていただきますよう、また、郵送の場合は、封筒表面に同じく朱書きいただきますようお願いします。

【締め切り】

令和6年3月7日（木）必着

ぜひみなさんの声を
国に届けてください！

2024年3月7日までパブリックコメントを募集中

こちらのQRコードから
アクセスできます→



QRコードが読み込めない場合はこちらのURLからもアクセスできます↓
<https://x.gd/UVlhq>